



**RE** RUBBISH Selecting Squad's  
EROTICA OMNIBUS 03  
**総集編03**

**For Adult Only**





# 前書き

はじめまして、またはいつもありがとうございます。  
無望菜志です。

セイバーだらけの総集編です。  
総集編02から1年も経たずに3冊目の総集編出すのもどうかとは思いますが  
Fate[UBW]放送終了直後の今が良いタイミングと考えた次第です。  
といってもこの本の内容、どれもUBWとまるで関係ないのですが(苦笑

さて、個人的に総集編を作るにあたって最大の問題は、  
過去の拙い原稿と向き合う事だと思っています。

画力だとかネーム力だとか、苦笑いするレベルで、  
1P編集するたびにもりもり精神が削られていきます。

その上今回は内容が実にポエミー。

PS2版のラストエピソード見た勢いで描いた「RE06」はともかく  
その後冷却期間があったはずの「RE09」「RE10」に至っても  
なんとも身悶えしたくなる内容。

顔面覆って逃げ出したくなりました。

けれども、気付けばニヤニヤしながら原稿読み返してて  
青臭くも熱かったなあと、などと少しほっこりしてました。

むしろ原稿そのものよりも、当時の前書きや後書き読み返す方がキツイ…。  
折角なのでコメント類も再録です。

そんなうれし恥ずかしな内容ですが、最後までお付き合い頂ければ幸いです。



## ■前書き、及びご注意■

この同人誌には PS 2版 Fateのネタバレと書き手の  
過剰な妄想が含まれております。  
心臓の弱い方や、高血圧の方は入浴時間を減らし、  
PC版使用済みでもレアルタヌア未プレイでネタバレ  
を嫌う方はご利用を控えた方がよろしいかと、つてか  
ゴメンなさい、ホントゴメンなさい。  
今回キモいです。我ながら相当。  
ラストエピソードクリア後、一気にネームを書き上げて  
しまった為いざペン入れする際に読み直して…頭抱え  
ました(汗  
まあでも満足です、愛は詰めました。  
過剰なまでに。  
LOVEのオーバードースで心停止モノです。私が。  
仮に生き延びても数年後に DTFB現象で死ぬますね。

えーまー、そんなわけで申し訳無いのですが最後まで  
お付き合い頂けたらと思います。

無望菜志 2007年8月某日





シロウの手…

うん？



なりましたね…

大きく



ああ  
図体ばかりで

中身は  
ちつとも成長して  
くれないけどな

我ながら  
呆れるよ

アレから  
何年も経って  
るのに

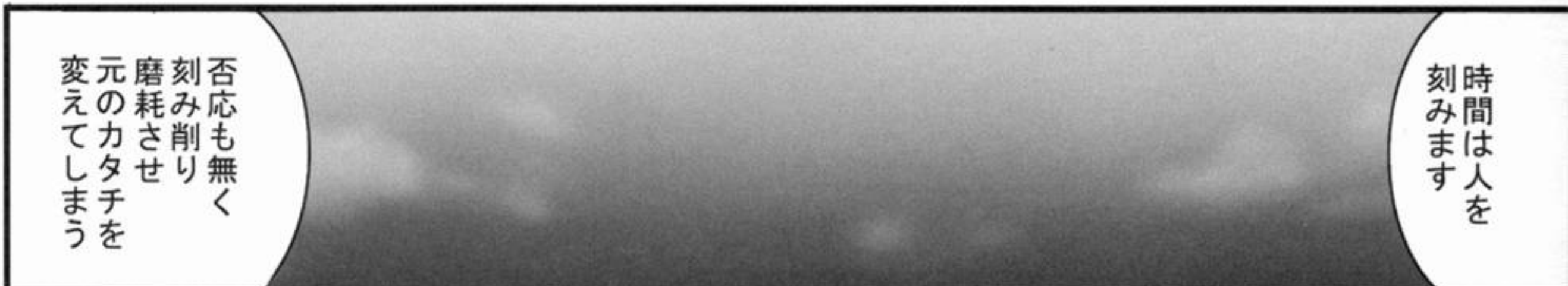


シロウは  
変わらなかった  
のではなく

変えなかつた



いえ、貴方は



時間は人を  
刻みます

否応も無く  
刻み削り  
磨耗させ  
元のカチを  
変えてしまう



いえ、別の何かに  
歪んでしまう  
事も少なくは無い

それでも――



貴方は  
ここに  
いる



貫き通して



たった一人



折れる事無く

傷だけを増やした  
剣のような生き方を



ハアアア



ふわ

好きで選んだ  
生き方だ

それに



一人なら  
とっくに碎けてた



あの日見た  
おまえの姿が  
焼きついて



シ、シロウ…？

セイバーが  
いてくれたから




そう——




消える事無く  
傍に感じられたから

俺は俺のまま  
走りつづける事が  
出来たんだ

何も変わっちゃ  
いない



おまえを  
想う気持ちも



シロ…ウ…



あの日から

いや、初めて  
会った時から

ずっと俺の中に  
いたんだ



セイバー

愛してる





あ...

はっ...



んっ...



て...



はあ...

はあ...

くちゅ

ちゅっ

ちゅる



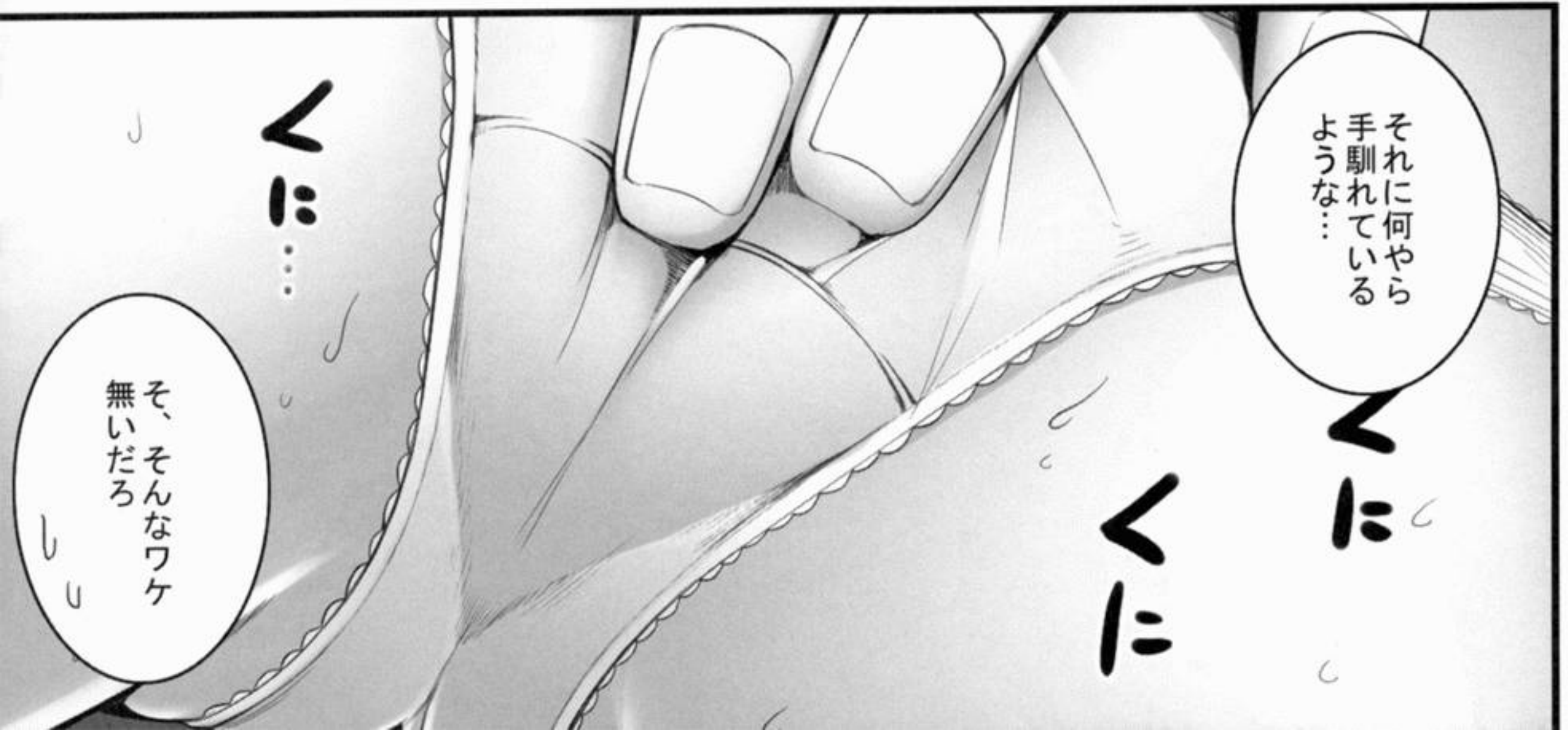
シロウは変わったのかも  
しれません…

うん？



あなたがこのように  
私に触れているなど

ちょっと……  
信じられなくて



それに何やら  
手馴れている  
ような…

く に ……  
そ、そんなワケ  
無いだろ

あ、いえ、  
何も責めている  
ワケでは

殿方が女性を  
求めるのは  
当然のこと

み、操を立てて  
いただいたワケ  
でもありませんし

その、シロウが  
これまで  
他の女性を求めて  
いたとしても

何の咎も…

セイバー



んむッ!?

ちゅっ♡



んああッ!

んう、ん!

んむッ!

んう、んんッ

ちゅるん

ちゅるん♡

ちゅるん♡  
ちゅる♡

ちゅる♡

ちゅ♡





到底シロウの満足行くものではないのでは…

バカ



何も心配する事なんて無い

オレはセイバーと最後までしたい、1つになりにたいんだ



あ……



オレがさつきからずっと我慢してるのわかんないのか？



オレにはもうセイバーしか見えてないんだから…

シロウ…



あの……

本当に  
この格好で……?

ぬちゃ……



くちゅ



ああ、少しは  
楽なはずだよ

い、痛みなら  
慣れていますが……

そういうことじゃ  
なくてさ

少しでも  
感じて欲しいんだ



ガクッ

っあ、ああ!?







身体の中が  
押し上げられる  
ようでしたが

ならもう少し  
動くよ



ああッ

は、  
あああッ！



わ、わたしの  
身体ッ

おかしくは…  
ッああッ！

シ、シロ、ウ  
ほんとにッ

こんなッ  
熱くて

ぬ  
ちゃ

ぐ  
ちゃ

ぢ  
ちゃ

ッああ

あッッ！

ぎ  
ちゃ



セイバー、  
まだそんな事...

で、ですが私はッ

こんなの  
知らな、いッ

せん せん

ふあ

せん

せん

せん

せん



剣士の、  
王の生き方しか  
知りま、せんッ

ふあ

せん

はや

そ、それが  
こんな、声を、

あ、ああ  
信じ、られないッ

ぶ

ぶ



わらひ、  
ホントにッ

ボク  
ボク

お、おかひくは、

んああッ

そうか

ああ…



ッあ!?

フ  
フ



はあ、はあ  
……?

シ、シロウ…?

ごめん、  
アルトリア



はっ!!?

シロウ……

ドキ

ドキ

ズズズズズズ

そんな、急にッ!

ああっ!

ズズズズ

ズズズズ

はあッ

んあああッ

はっふあッ

一人の  
女の子として  
感じるままに

声をあげてくれて  
良いんだ

ほ、  
ほんとにッ!?

不安になる事  
なんてない

アルトリア  
として、

ズズズズ

ズズズズ

ズズズズ

ズズズズ

ズズズズ

ズズズズ

ズズズズ



は、は、  
はしたなく…ッ

そんなワケ無い

こんな  
感じて！

わら、ひ、

すん  
すん

はは

あ

は

はは

はは



そんな、  
ほんまにッ!?

もっと感じて  
欲しいくらいだ

とても  
可愛いよ

ああ

愛してる  
アルトリア

ちゅ

ちゅる

ちゅ

ちゅ

ギ  
ムッ

は、  
ああッ

ひ、シロ、  
シロウをッ！

ああッ  
ああッ

ズ  
ッ

わらひ、も！

ズ  
ッ  
ズ  
ッ  
ズ  
ッ

あ、愛してッ

シロウを

愛してますッ！

っああ、  
シ、シロウー！

シロウ！！





あーあ

びゅん

びゅん

びゅん

あ

びゅん

あ

はあ

はあ

はあ

はーあー  
お熱いことー

火傷  
しちやいそー

セキッ

リン：  
電話切ります…

まったく！

無理やり話を  
させておいて  
それは  
無いでしょう！

はははは  
ゴメンゴメン

で、  
身体はどう？  
こっちの結果では  
全然問題無いけど

ええ、  
お蔭様で

ああん、嘘嘘  
冗談だって！



多少魔力に  
減退を感じますが

サーヴァントで  
無い今、特に  
問題は無いでしょう

なるほど

じゃあ



また衛宮君は  
スパルタな  
毎日ってワケか

いえ、シロウの剣に  
教える事など――



もう数える  
程度ですから

あー、  
それはちよっと  
寂しいかもね

あ、  
ならいっそさ



子供でも作って  
ビシバシ  
鍛えてやったら？



…っあ



ド  
キッ



ねえ、今さ



ちょっと  
最後にひとつ  
だけね

なんですか  
もう！



長電話が  
過ぎたようです  
ね、切りますッ！

あー！  
待った待った  
待った！

掛かか？



そうですね

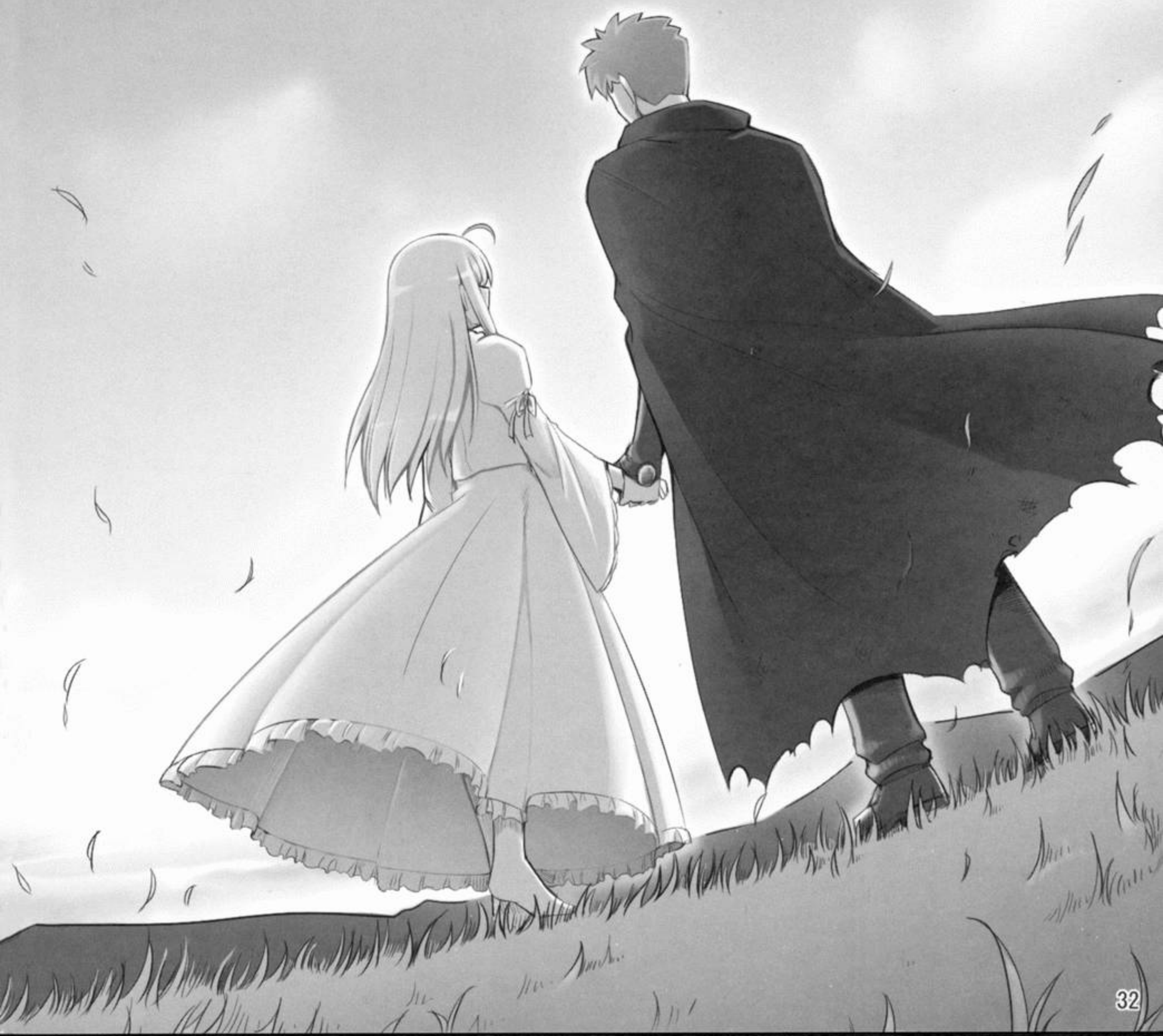


……ワウ



とりも

幸せです



あとがき

笑いたければ笑ってください… orz  
ども、無望菜志です。  
色々恥ずかしいので文字小さめでお送りしております(恥  
やーもう、今回は色々参りました。  
好きで描いたとは言えるんですけど、ほんと作業中は身悶えして  
何度、描き直そうかと思ったことやら…。  
大体当初の予定では BAD エンド気味なクソ陵辱触手モノに  
なるはずだったんですけど(苦笑

まあでも、あの ED を見てしまっただけは描かずに  
いらなかったんです(苦笑  
その辺、少しでも共感して頂けたら嬉しいですが…  
まあキメエと指差して笑っていただくのが正しいですかね(苦笑

ED の扱いに関しては色々言われてたみたいですが、  
個人的には漫画のとおり、もう二人して子供ガツガツ作って  
クソハッピーだよ、良いじゃんソレデ！！  
と思っております。  
ああ、キメキメエorz

今後の予定はまだ未定ですが、もう少し Fate で  
描きたいネタもあったりするんで、冬はわかりませんが  
来年あたりに分厚い本でも出したいなーと漠然と  
思っております。

さて蛇足以外の何モノでもない今回の漫画でしたが、  
最後までお付き合い頂いた貴方。  
そして手伝ってくれた Denim 氏と TYPE - MOON に感謝しつつ  
また頑張っていこうと思います。

それではまた。

無望菜志

■以上恥ずかしい同人誌その1。  
リアルタヌアクリア直後はしばらく変なテンションで、  
これであと10年は戦えると思ったのですが、  
実際10年近くセイバー本描く事になろうとは考えてもみませんでした(笑

ラストエピソードは解釈色々出来るでしょうが、  
当時は「そのまま現世でハッピーエンドに決まってるじゃないですかYO」  
などとトチ狂ってはいたものの、  
我ながら妄想暴走しすぎててさすがにキモイなどと  
色々余計な事考えて描くのをためらいもしましたが、  
結局勢いで押し切った様です。

これ以降ハッピーエンドにしるバッドエンドにしる、  
とことんやり切るよう心がけるようになりました。

未だキメキメと囁いてくるとどこか冷めた自分と戦う毎日ですが(笑





別れは  
すましていた

あふせ

なすべき事を  
果たす

それだけの  
はずだったの

あふせ——

願ってしまった

心の底に  
沈めたはずの

今はもう  
星の光ほどもない

小さな願いを

それを  
目の前ずっと

強く

強く

願ってしまった



共に在りたいと

聖杯なき今

サーヴァントを  
現界させるのは  
難しい

ズズズ...

ズズズ...

マスターが  
膨大な負担を負うか

ズズズ...

サーヴァントに  
人を食らわせるか

ズズズ...

ズズズ...

どちらも  
ありえない選択だ

俺に  
そんな魔力の  
持ち合わせはなく

彼女はどれだけ  
貶められようと

そんなもの  
口にはしないだろう

ズズズ...

ズズズ...

ズズズ...

なみひ

ズズズ...

ズズズ...

ズズズ...

ズズズ...

ズズズ...

ズズズ...

ズズズ...



彼女に  
油を注ぎ  
こ

俺が人を食らい  
魔力に変え

聖杯は  
そう判断したのか



ズ...

この体は彼女を  
生かすだけに  
特化した

肉塊へと  
変わっていた

無数に伸びた  
手足だつたものは  
街を埋め尽くし



騒  
が  
り

う  
ま  
い

う  
ま  
い

奪  
い

犯  
し

う  
ま  
い

ん  
ん

お  
お



命を  
吸い上げていった

かつて  
命がけで守りし  
したモノを

自分で摘み取る  
なんて滑稽すぎて  
笑えない

救いといつて  
良いのだろうか

既に頭が  
壊れているのか

知った顔を  
何人襲っても

お  
お  
お

お

痛むものは  
残っていないかった

彼女がいれば  
それでいい。

かつて  
誓ったものには  
遠く及ばない

酷く独善的な  
考えだったが

もう彼女だけが  
全てだった

だから声を殺し  
顔を歪める彼女を  
見るのは辛い。



当然だ

こんな辱め  
誇り高い彼女が  
受け入れる  
はずがない

俺によせてくれた  
好意も信頼も、

きつと怒りに戻と  
されている事だろ







それでも

最後の夜に見せた  
彼女の顔を

王の仮面を外した  
少女の顔が見たかった

声を  
聞きたかったから



その肢体に  
肉を這わす

傷つける事無く  
全身を  
撫でまわして

都合の良い  
妄想だ

こんなもので  
彼女が悦ぶ筈もない

ギョ  
ギョ  
ギョ

へ  
び  
ー

そんな冷めた声が  
聞こえた

だが人の域を  
外れたこの身体は

ぐ  
に  
ズ  
ズ  
ギョ  
モ

必死に耐え続ける  
彼女の声を

ぞ  
ろ  
ぞ  
ろ  
ぞ  
ろ  
ぞ  
ろ

く  
ら  
び  
ー  
び  
ー  
び  
ー

甘いものに  
変え始めていた

ぎ  
ゃ  
ん  
ぎ  
ゃ  
ん  
ぎ  
ゃ  
ん  
ぎ  
ゃ  
ん

あ  
ま  
り  
!



ああ

びん

熱を帯びた肉が  
一層彼女を  
貪ろうと蠢く

うあ

びん



ぞくぞくと  
身体が泡立つ

おび

びん

びん



あ

あ

んあ

あ

あ



最強を誇った  
彼女とはいえ

打って変わった  
容赦のない動きに  
不安を覚える

見た目は  
華奢なだけの  
少女なのだ

ああ

あ

うあ

びん

あ

びん

びん

とろりと自煎  
しゅわんとする  
ま

こぼれだした  
唾液を耳にしては  
身体を抑えておく  
ことが出来ない

あ

おがまいなして  
肌を締め上げ

貫かんばかりに  
肉を打ち付け  
突き上げてしま

嫌なことも  
厭わない勢いだ

あ

みち

みち

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

だがそんな心配を他所に

彼女は昂ぶりを増しているようだった

ああ

おん

あ

あ

頑なに閉じていた口元は緩み

舌をのぞかせ

ん

いあ

誰かきこ

身体を震わせて

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

ん

ん

ん



とじとじ  
嬌声を響かせた

あが  
あが  
あが

あが  
あが  
あが

ド  
ド

あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ

ゴ  
ボツ

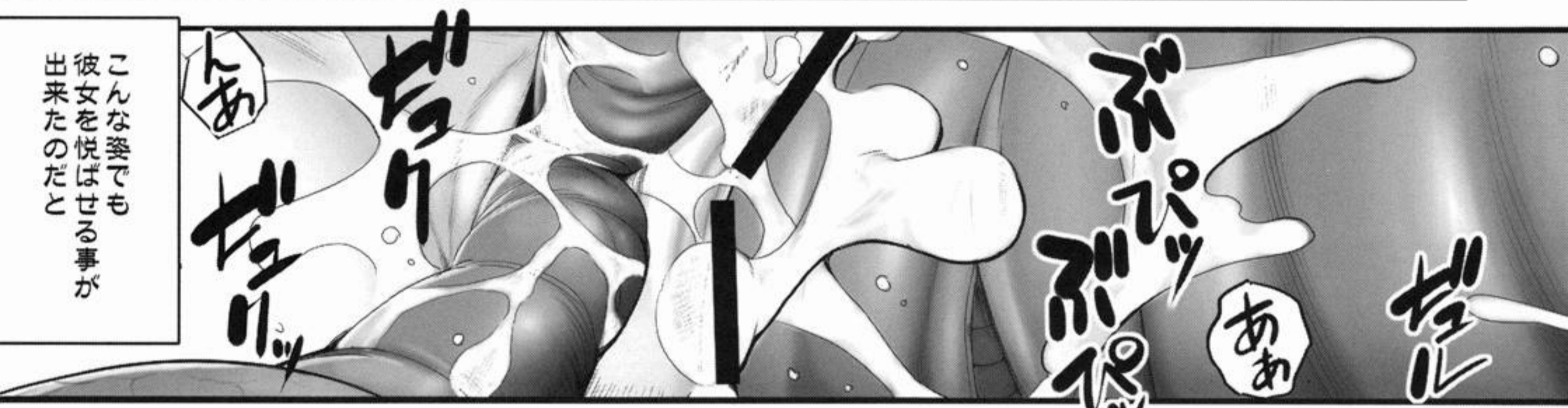
あ  
あ  
あ

彼女の中は  
みつしりと肉で  
埋め尽くされて  
いるものの

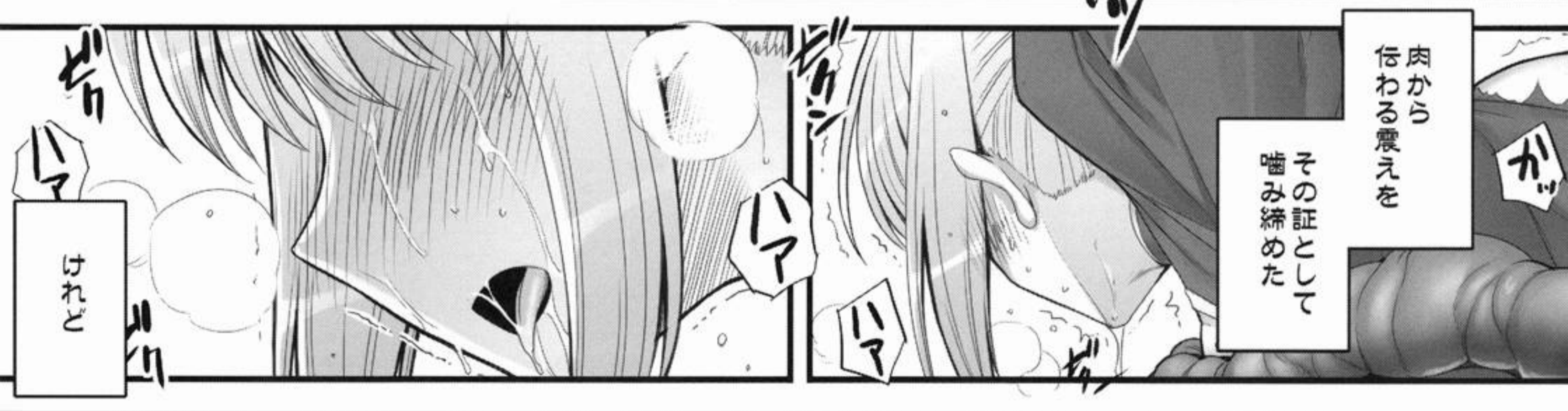
まだ欲するかのムネに  
締め付けてくる



達成感があった



こんな際でも  
彼女を悦ばせる事が  
出来たのだよ



肉から  
伝わる震えを

その証として  
噛み締めた

おぼろ





違っ

違っ…

こあ…

あがが？

ぎゅあ

ぎゅあ



違っ  
違っ

違っ  
ミ

あ

ああ

ぎゅあ

ぎゅあ

あ



あの夜見たのは  
こんな彼女ではない

こんな顔を  
させたかった  
のではない

ああ

くあ

ぐん

おび

ぐん

ああ

ぐん

お

はあ

ギ

ぐん

ぐん

焦りが身体を  
突き動かす

うん

ぐん

ぐん

んあ

その顔を覆う  
陰を拭いたくて

さらなる肉で  
穿っていく

ギ

ぐん

ぐん

あ

あ



間違っている

おん

おん

そんなことは  
百も承知だ

おん

おん

おん

こんな事で  
あの夜の彼女に  
届きはしない

おん

おん

おん

それでも  
他にすべを  
知らない俺は

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

ただ愚直に  
奥へと挿き進んでいく

おん

おん

おん

掃き分け

三千三千

ズンズン

ふあ

あふ

キキ

打ち付け

ぶっ

あ

あ

埋め尽くして  
送り

ズンズン

あふ

ボ

あ

彼女を  
もはや王とせ  
英雄とせ

あ

あ

あ

あ

少女と  
手と

あ

あ



ああ!!

あああ

クッ

クッ  
クッ

無残な姿に  
変えていった

クッ

クッ

クッ

クッ

うあ

うあ

クッ

うあ

目の前の様子

脳裏に焼きついた  
彼女の  
違いに愕然として

動きを止める

か...

これ以上は  
彼女を壊すだけ

いや、すでに  
壊れている  
のではないか

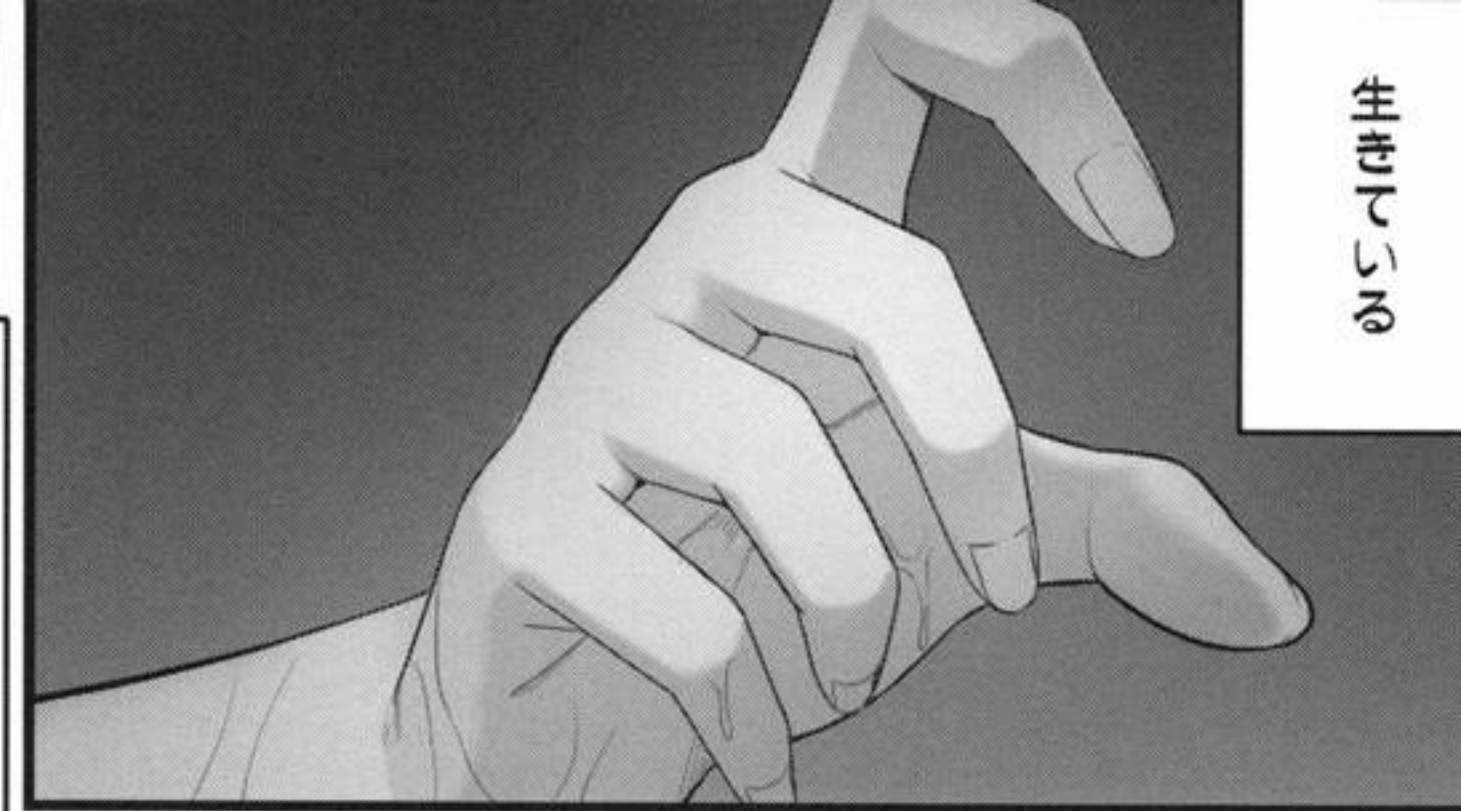
そんな不安が  
脳裏を掠める

今更その身体に  
触れている事さえ  
恐ろしくなる

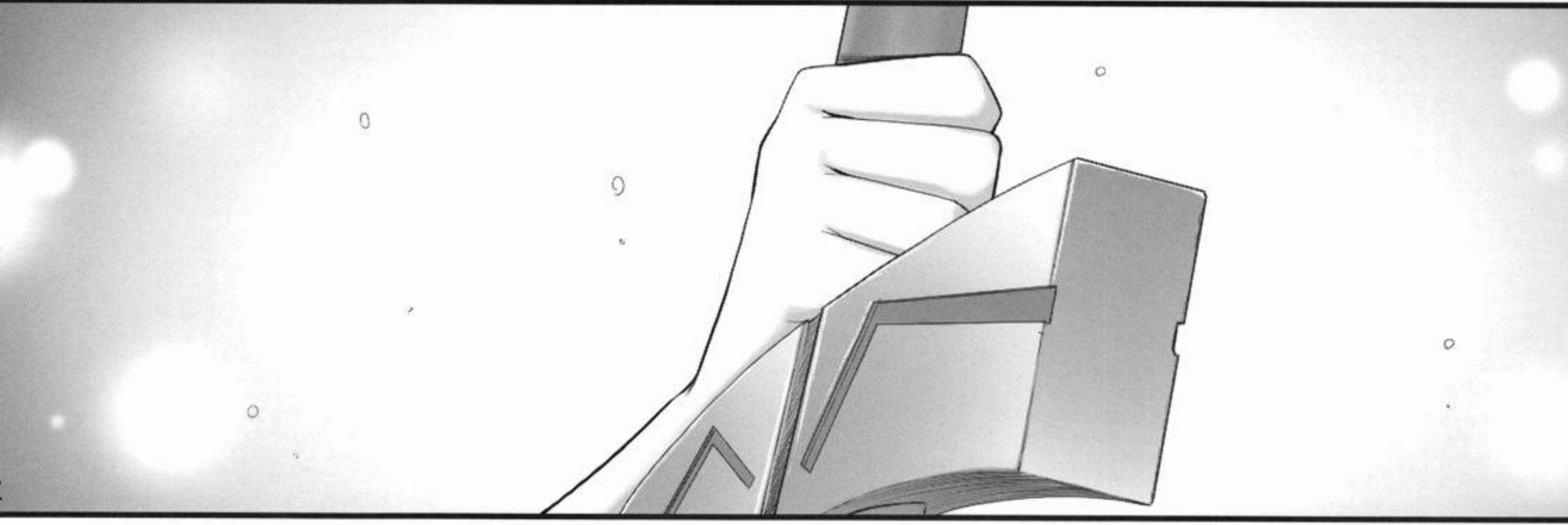
ふいに彼女が  
手を伸ばした



交棒の息を  
漏らしたその時



まじりこ



まじりこ

熱いものが  
彼女と俺を貫いた

によろーん。じゅるーん。によろんによろんじゅるん。

ども、無望菜志です。

毎度の触手本ですが、ここまでお付き合い頂きありがとうございます。

前回のらっきょ本に続きプレイ内容が淡白だよなーとか、  
アへ顔までもう少し引っ張らないとなーとか、  
変にポエムってんじゃねーっ、とか反省しきりなワケですが、  
アレですよ、聖月様がBADエンドをもう少しねちっこく描いてくれば  
こんな事で悩まなくて済んだんですよッ（笑

TYPE-MOONに大して妄信してるなーと自覚あるのですが、

一つ不満があるのがBADエンドの内容。

数は多いのにあっさり死ぬだけが多いんですよね。

もうちょいトラウマ刻み付けるような印象的なBADが欲しい…ッ。

別にエロじゃ無くて良いんですけど

折角の18禁なんだしもう少し無茶して頂きたいッ。。

変にぼかさずきっちり描写というか…

具体的には桜ルートハーレムEND。

結局エロか。

そんな事考えてる内に、好感度高すぎて陥るBADがあっても

良いんじゃないかと思って今回のような内容に。

身の丈に合わない事この上無いですが、変な冷や汗かきつつも

楽しく描けたのでまあヨシ、と。

というか、それならハーレムEND描けば良かったんじゃないか？

と自問もしましたが、それだと桜や凛さんがメインになっちゃうので却下。

黒セイバーさんも好きなんで出せば良いんですけど

どうしても攻めのイメージが強いですからねえ…。

と、ここまで書いといて、

「ならセイバーさんの黒化イベント補完しとけば良かったんじゃないの？」

とのセルフ突込みが湧き出てきましたが……。

……

そっかあ…そうだよなあ…（汗

ちょいと忙しくなって来て中々時間が取れませんが

いつかスキを見てどうにか…

（まだセイバー描く気満々だったり…）





ーイマイチ描き足りなかった  
セイバーさんアへ顔補完。  
救いの無いバリバリの快樂墮ち的な話も  
好きなんですけど、  
何故だろう、セイバーさんで  
それやろうとすると  
妙な抵抗感があるのは…（汗

こ、これがラヴのカ…ッ？  
多分違うと思いますが  
そういう事にしとくと  
私も少しは清い人間に  
見られるかもしれません。

今後の予定ー。  
映画合わせでなのは本  
作りたいなーとか  
ゼロの雁夜くんとロリ桜の  
どうしよーもない話  
補完したいなーとか  
相変わらずセイバーさん  
描きたいなーとか。

仕事の予定が  
固まりきってないんで  
いい加減な妄想だけが  
先走ってますけど  
どれか一つでも  
形にしたいと思ってます。

今期はアニメも結構見てるんで  
その辺描いて見たいってのは  
思うんですけど、  
そういうのは放っておいても  
他の人が描いてくださると  
思うのでまあいいかなー（苦笑

漫画だと「惑星のさみだれ」とか  
「ワールドエンブリオ」とか  
描いてみたいですが…  
ああ、あとおお振り本。  
女性向けで描けないモノかと  
頭捻ってたり。

ホモとヤオイは違うから多分大丈夫……？

さて、ページの都合上、長々と駄文を続けてしまい申し訳ないと思うのですが  
ようやくスペースも埋まってきたのでこの辺で。  
毎度のごとく手伝ってくれている Denim 氏に感謝。  
それではまた。

私の許される  
願いは

彼とその周りの  
全てを代償に  
かなえられた

この上なく  
甘い悪夢

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ぬ  
ぬ  
ぬ

自分が  
許せなかった

心からの願い  
だったけれど

ズ  
ズ  
ズ

彼を貶めてまで  
望んだ  
自身の弱さが  
許せなかった

涼されまいと  
炎死に抗う

だが

ズ  
ズ  
ズ



その罪悪感に  
心が潰される

いかに姿を  
変えようと  
彼に抱かれている  
という事実には

容易く身体は  
声を上げる

くは

うあ

ぞん  
ぞん

あ  
あ  
あ

はあ

むむむむ

ぎゅぎゅ

ぶちゅる

うん

びんびん

うあ

あ

あ  
あ

びんびん

それでも

終わらねばならぬ  
ならぬ

今なすべからず  
この場が醒める事

これ以上  
彼を汚さない為に



どくり、と  
腹が破れんばかりに  
膨れ上がる



もう  
何度と無く意識を  
飛ばされたが  
かろうじて  
踏み止まる



ふいに拘束が  
解けていく



疑問をはさむ  
暇は無い  
まどろみを  
振り払うべく  
腕を伸ばす

忘れていた  
柄の感覚に

沈みかけた意識が  
浮かび上がる

勝手に願って  
散々巻き込んで

都合が悪いと  
終わらせない

そんな  
身勝手な私を

彼は怒るだろうか  
嘆くだろうか

許して欲しいとは  
思わない

ただ

この期に及んで  
あきれた話では  
あるが

願わくば  
目覚めの間に

彼に  
想いを伝えたい



■恥ずかしい同人誌その2ッ。  
愛ゆえに人は狂うのだーッ、とド直球な内容でした。  
多分HFルート意識してた気がします。  
桜の為に何もかもかなぐり捨てた士郎がかっこ良かったので、  
だったらそれをセイバーに対してやってもらいたいなーとか。

あの二人としては絶対ありえない選択でしょうけど。

それもあってかこの話も描くのに抵抗ありました。  
結局勢いで押し切ってますが(笑

最近またセイバーのガチ触手陵辱本描いてみたい熱がふつふつと  
沸いてきましたけど…そろそろ燃料不足か。  
黒化ネタを触手で書いた事ないので、  
HF劇場版にあわせて描くのもアリですが今更感もあるし。

ここはGOに期待かッ。



### ■前書き、及びご注意■

この同人誌には PS 2版 Fate のネタバレと書き手の  
過剰な妄想が含まれております、なーんて RE06 の  
前書きをそのままコピーしても良いような今回の RE10  
ですが、実際似たような内容です。

というか以前はまだリアルタヌアからの妄想って事で  
大目に見て貰えた部分もあったんですけど…。

今回はなんともはや…。

キモオタの気持ち悪い妄想を思う存分抽出しようと  
した結果、全体の 2/3 が非エロというエロ漫画家に、  
あるまじき内容となってしまいました。

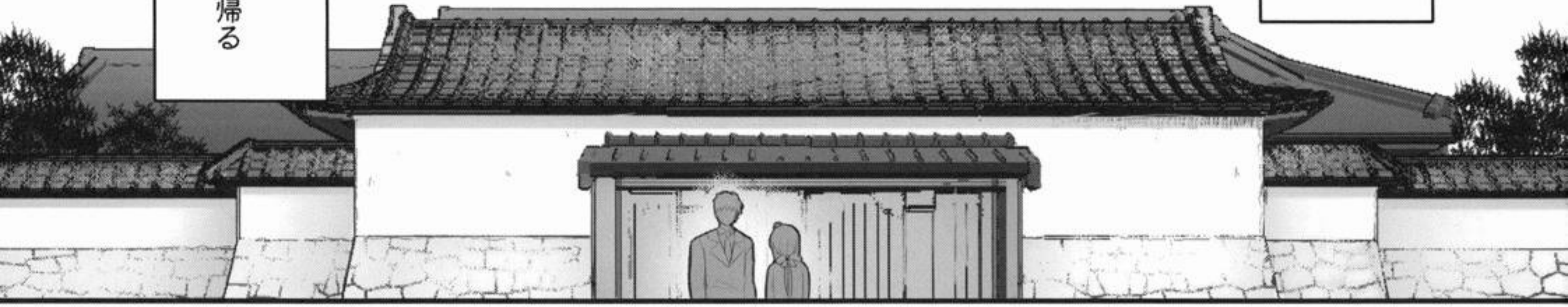
この辺はただただお詫びするばかりですが、それでも  
この純情豚野郎のこっ恥ずかしい漫画に、最後まで  
お付き合い頂けたら幸いです。





永い旅を終えて

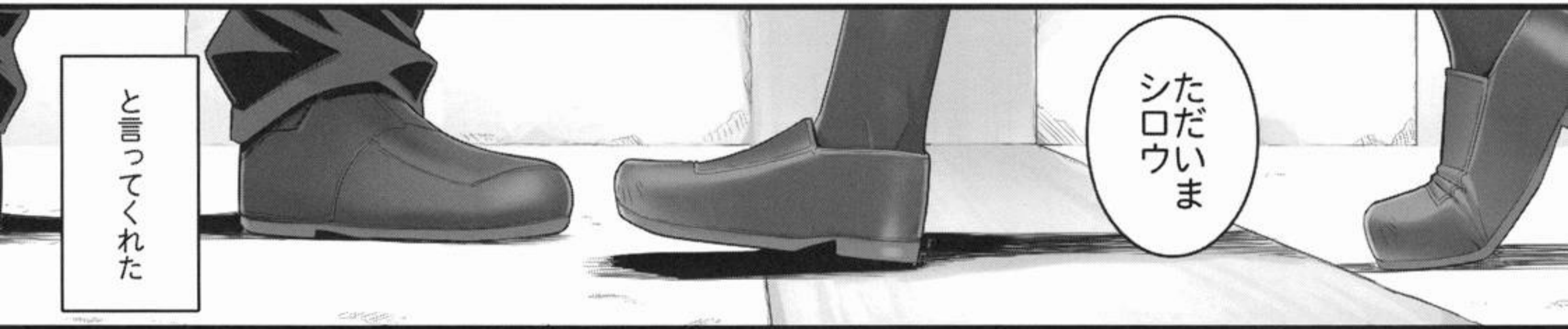
なつかしの  
我が家へと帰る



彼女は  
少し戸惑い  
ながらも



おかえり  
セイバ



ただいま  
シロウ

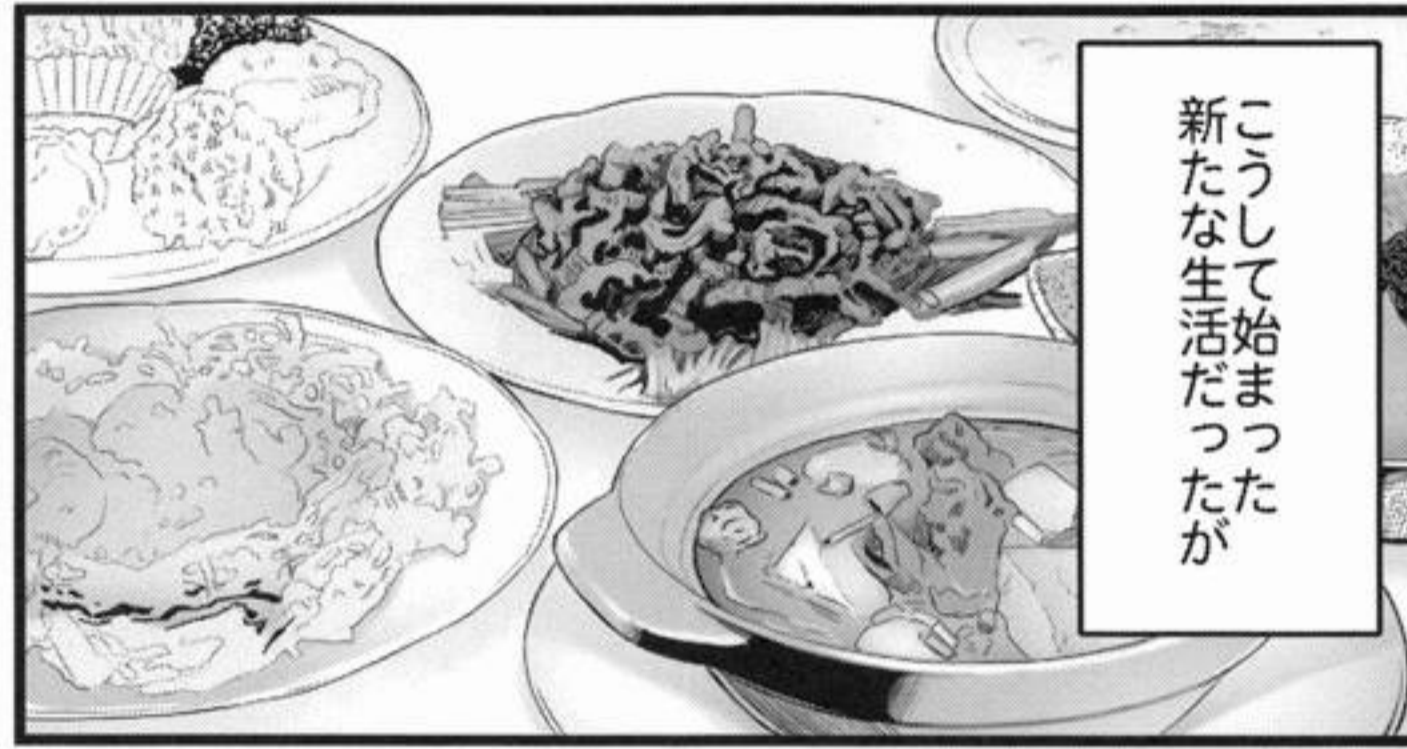
と言ってくれた



おかえり  
ーッ!

あの夜の  
別れからは  
想像もつかない

暖かく  
賑やかな  
出迎え



こうして始まったが  
新たな生活だった

もっとゆっくり  
してけば  
良いじゃないか

そうです  
今更遠慮など...

私だって  
まだ帰りたい  
わたくし

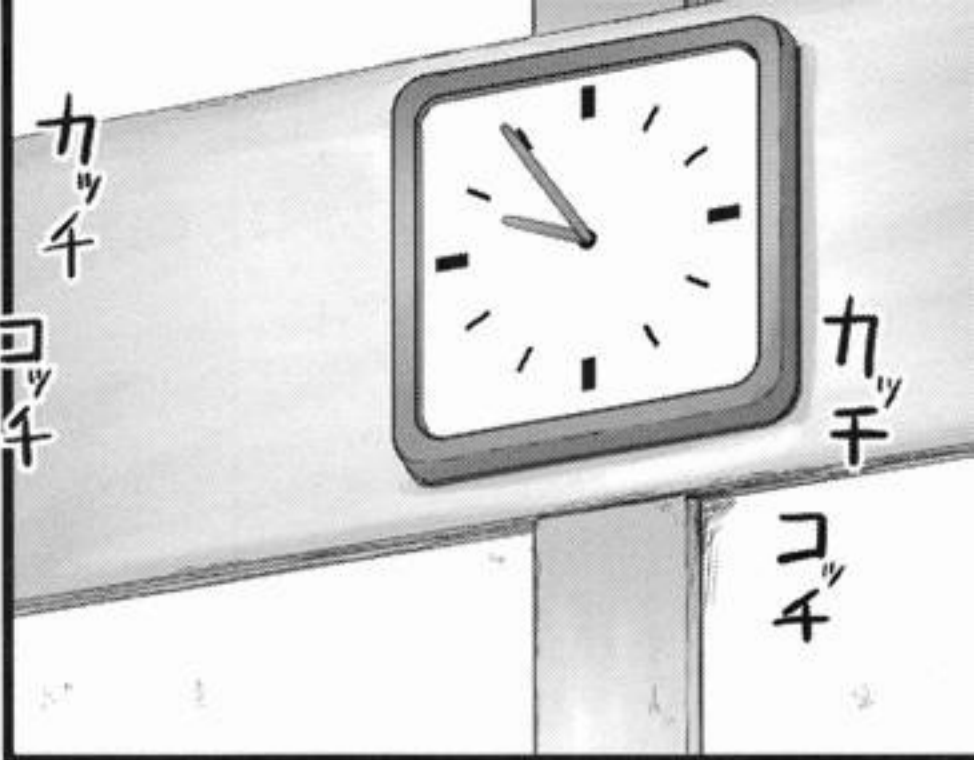
ウー...

久しぶりの  
我が家なんだもの

これくらい  
の空気読まない  
とね

けど凛が...







な、なに  
セイバー！

い、いえ！  
士郎こそ  
何か

ええつ、や、  
俺はそのつや、

そう  
もう遅いじゃー！

風呂！  
風呂入って  
寝よう！

そ、  
そうですね！  
それがいい！

あははは

あはははは

今夜はもう  
ゆっくりと…ッ！

ゆっくり  
したいでしょー

したいでしょー

ずん…

う……

したいでしょー

したいでしょー

あ……

したいでしょー



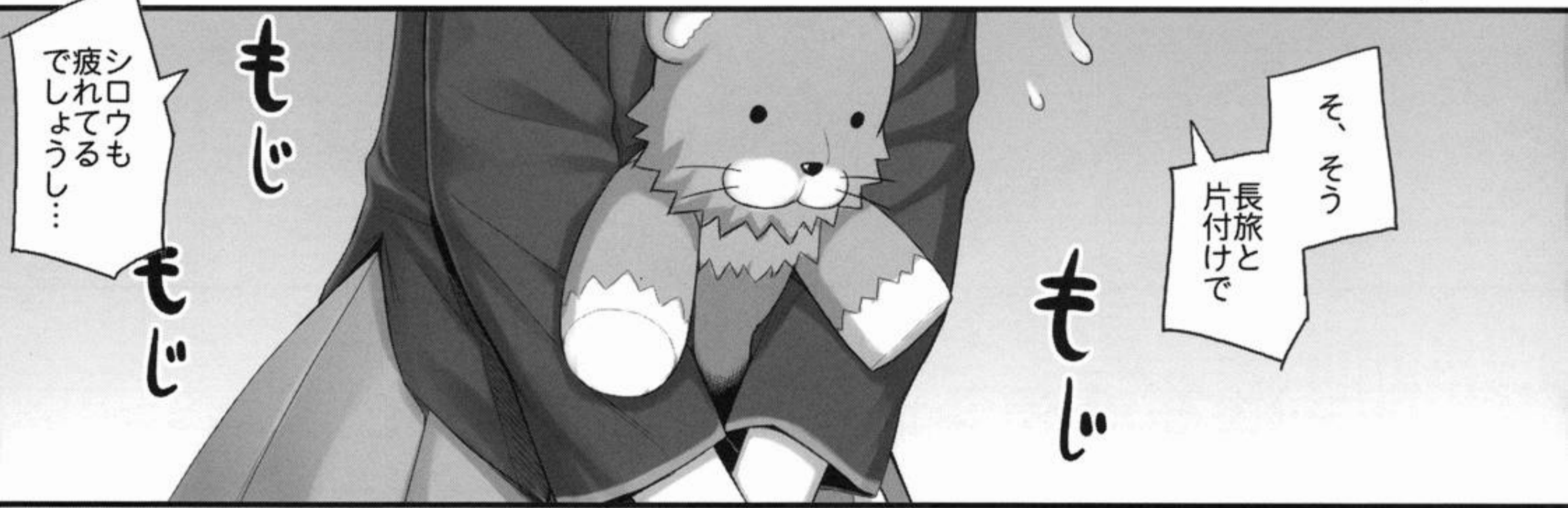
え…？

その…

待って  
ください！

とりあえず先に  
入るから！

…とッ



もじ

シロウも  
疲れてる  
でしようし…

もじ

そ、そう  
長旅と  
片付けで

もじ



？

せ、か…

その、  
せ…  
せ、せせ…



もじ

ですからッ

もじ

っせせせな、  
せなッ

もじ



背中...ッ

か...?  
流しましょう...



す、すみません!  
戯言ですッ!

忘れて  
ください...!

土郎!?

おッ  
おッ...ッ

ふぽッ





一緒に入ろうッ



は...はい...





ツ!?

ドキッ



ぬる

ぬる

こちらが…  
まだ…です



それに



セ、セイバー！  
そこはツ!?

静かに！



ふん

理解  
しています…

ふん



扱いは



ぬる

大丈夫…

118NO





今度は俺の番だな

えっ？

し、士郎!?

ドキッ

待って  
ください!

今夜は  
私がッ!

良いから  
任せて

してもらったら  
お返ししないと

ぬちゃ

くちゃ

くちゃ

おっぱい



そんな!?

い、いけないッ  
これでは  
アベコベです

いた

こんなの  
ズル:いッ

じゅんじゅん

あは

あは

くちゅ

くちゅ

あははは

集中  
できないだろ

そんなっ



あッ!?

っあ

っああっ!

キュッ

あは

あは

あは



そんな  
ところおツ!

ん?  
ああ

ん  
ちゅ



セイバーの  
味がする

~~~~~  
ッ!

ちゅるる

ぬちゅ



ふあ!

ちゅるる

はっ!

んッ!

くあ!

ぬちゅ

くちゅくちゅ

し、  
士郎ッ

ぬちゅ





こんなの…ッ

チンポ

チンポ

んあ

あ

あ

あ

私ッ  
もう…っ！

チンポ

チンポ

あん

チンポ

チンポ

んんん…



もう  
我慢できなくな  
ない…ッ

!!?

ああ、俺も

チンポ

チンポ

ああ

んんん



イ……ッて

こん、な、  
簡単に……ッ

ゼンッ  
ブルブル

……悪い  
セイバー

ブルブル

ブルブル

うあ……？

俺もあんまり

みち

持ちそうに  
ないからッ

みちみち

ま、まっつて  
くだッ

ああ！

はあ！

ぬち

みち

ブル

んあ！

ゼン



んあ♡

ああ♡

は♡

あつっ  
熱くてッ

お、奥  
あたっ、てっ!

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡





ニギニギ

ニギニギ

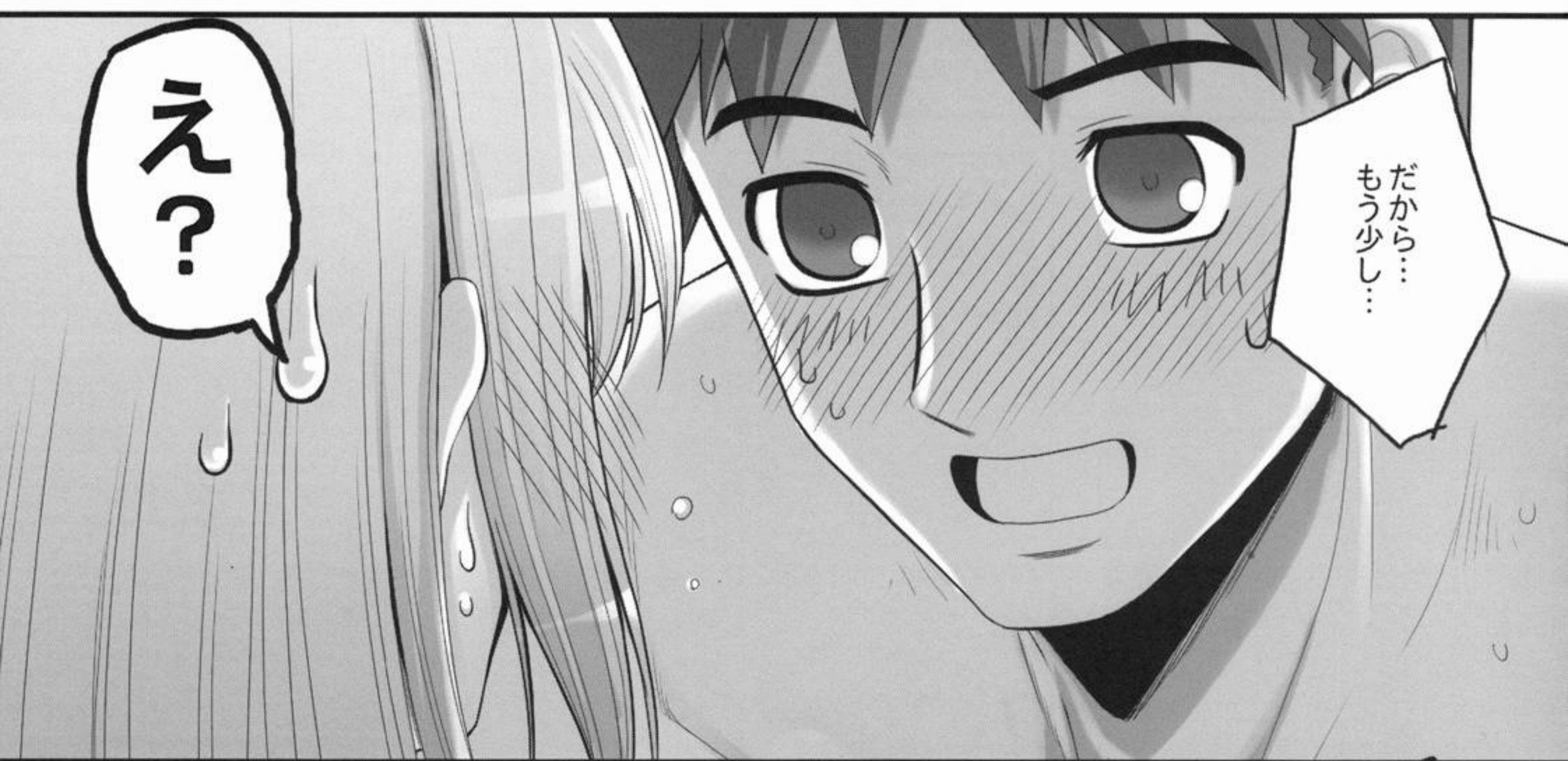
ニギニギ

ニギニギ

ニギニギ

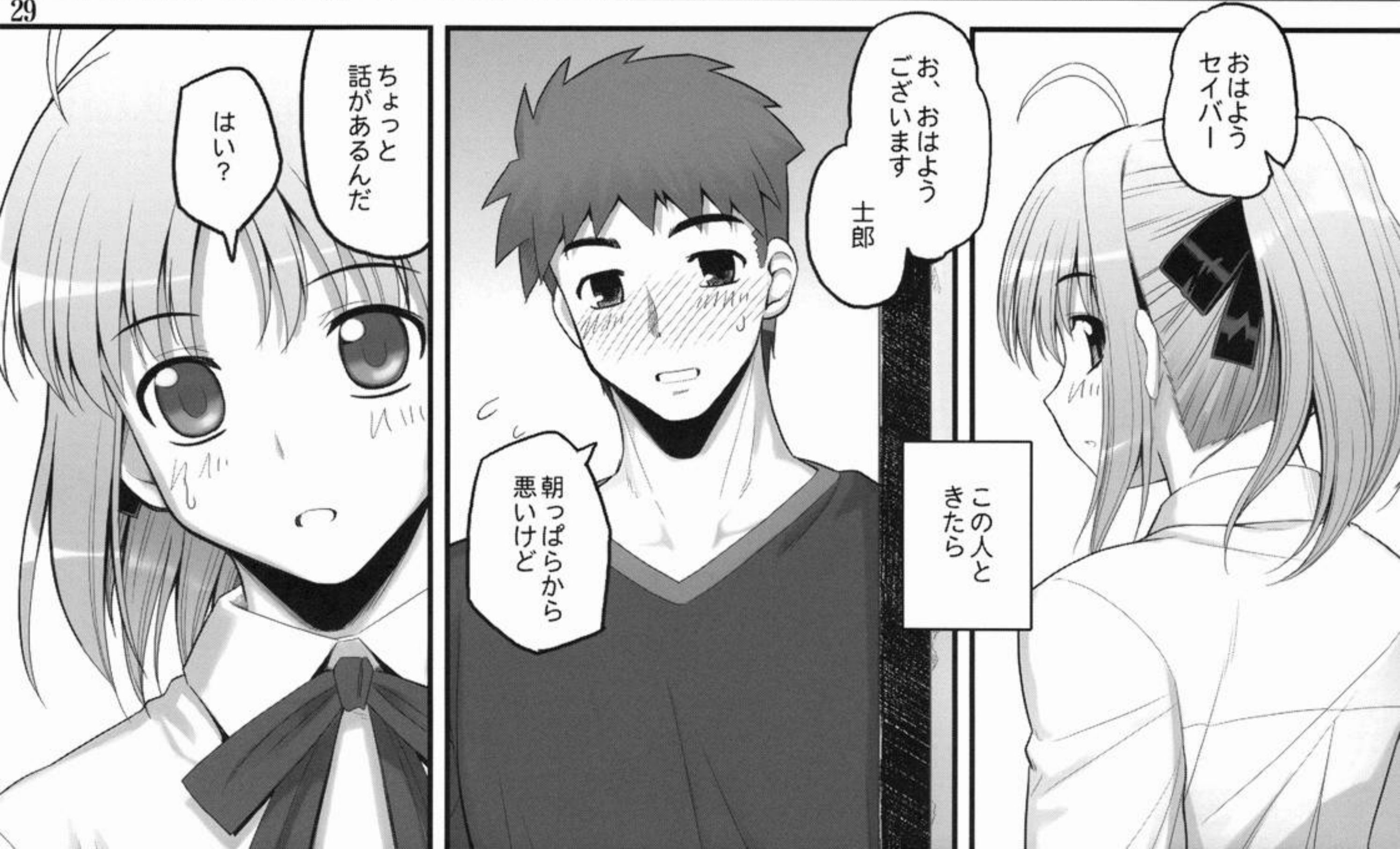
ニギニギ

ニギニギ











結婚して  
欲しい

とんでもない事を  
言い放った



---などと、





あ…

と…



わ、悪い  
驚くのも当然  
だよな

けど  
俺はずっと  
考えてたんだ



あの…

突然の事で…



もし、  
セイバーと  
一緒に

この家へ  
帰ってくる事が  
できたらッ

け、結婚ッ  
したい、って！



士郎

だから  
…!!

ス  
ッ



申し訳  
ありません







とても士郎に  
似つかわしくない



いえ、  
今の私では  
ただの居候です



それなら…ッ



料理？

そう  
料理だけでも



だからせめて…



そんな料理を  
作れるまで

ええ  
貴方の舌を  
唸らせる

美味しいと  
笑って頂ける

もう少しだけ

待って  
頂けませんか？



……ッ  
まったく









さて、  
そういう事なら  
ビシビシ  
鍛えてやらないとな

え…

あ、いえッ  
士郎の手を  
借りては  
意味がないッ

私は一人で！

一人って…



わ、わ、  
わかってはいます  
簡単には  
いかないでしょう



そりゃ  
セイバーなら  
出来るだろうけど

一朝一タって  
ワケにも  
いかないぞ？



大丈夫

自信はあります

でも…

なんでね？

？



それは…勿論

シロウを  
愛していますから



## ■あとかき■

ども、無望菜志です。  
以前のセイバー本で、もうラブいのは充分だろうと  
思ってたんですが、意外と好評でして、  
じゃあもう行けるとこまで行ってやろうと  
書き上げたのが今回の内容です。  
RE09 共々もっと上手いやり方あったなあ、  
と色々反省もあるのですが  
好き勝手やりきったので満足です。  
まあ表紙の花嫁姿描いた時点で 8割方  
満足してしまってたんですけども…(苦笑

さていい加減もうセイバーさんは良いだろ、と  
自分でも思ったりはするんですが、時折妄想が  
ざわつくんですよね…。  
しかもこの本が出る頃にはアンコ出てるワケで  
当然リリィさんも描いてみたいし。  
ただ他にも描いてみたい本はあるんで、  
中々悩ましいもんです、むう。

さて、ひとまずこんなところでお別れです。  
最後に手伝ってくれたいつもの Denim 氏と  
ここまでお付き合い頂いた貴方にこの上ない感謝を。

それではまた。

無望菜志

2008年12月某日

■恥ずかしい同人誌完結編

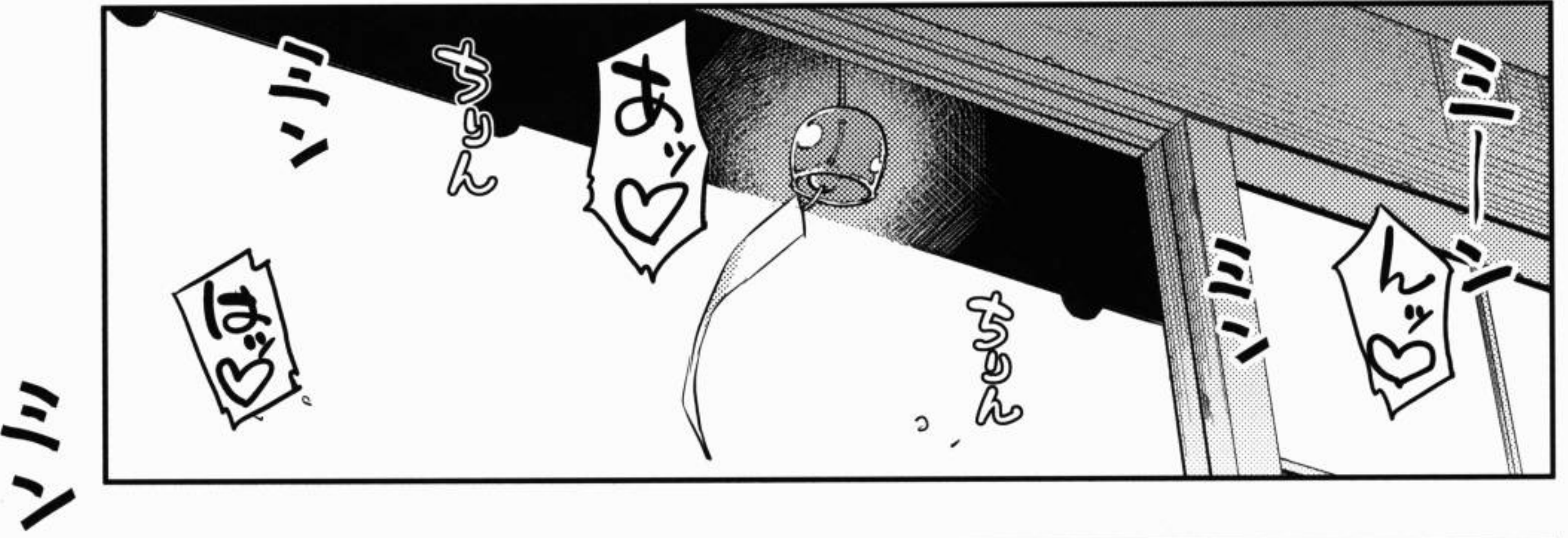
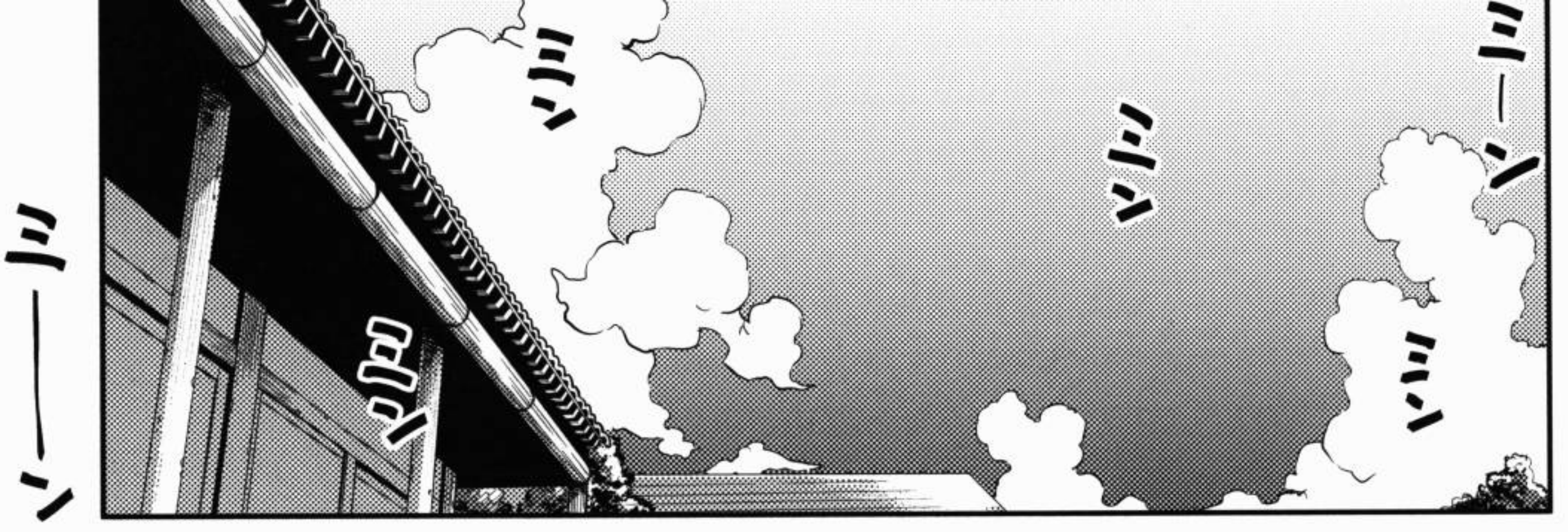
ページの割にエロシーンが少ないエロ漫画にあるまじき内容。  
あげく折角のお風呂エッチなのにぬるぬる感足りないわ湯船ックスないわで  
本当にヒドイッ。

まあ一番描きたかったのが事前事後なので仕方ないですが(笑

「RE06」でやりきったもののやっぱり抵抗感が拭いきれず、  
それでも結局勢いで(ry

「RE10」以降もセイバー本は出していますが、輪姦、触手、エロコメディなどに  
UBW見てたらこれまたガチラブ本描いてみたい熱がふつつつと…。

やはりGO…いやさ、いっそ公式から新規セイバールート提供してもらえると…。





達…しッ

クワッ

グワッ

また…ッ

わた…し…





朝から  
四度目の絶頂…



いや、五度目…?

時間の感覚が  
あやふやで

**ドロキ...**

いつから  
こうしていたのか  
わからない…



なのにシロウは  
まだ…

セイバー…

し、  
しろオ…ツ

まっ…て

**びんびん**

待って…くださ



満足していない  
なんて…

ぐ  
い  
っ

シ

シ

シ

シ

シ



シ

ス

ス

シ

シ

ス



きっ  
っか  
けは  
何  
だ  
っ  
た  
か  
…

事  
を  
始  
め  
た  
経  
緯  
は  
ハ  
ッ  
キ  
リ  
し  
な  
い

シ

ス

シ

ス

シ

シ

ス

シ

ス

ス

私の魔力が  
減っていたこと

同居人らが  
外出していたこと

夏らしく  
薄着でいたこと

髪を結い上げて  
いたこと

ニニニ

ニニニ

ニニニ

ニニニ

らめ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



ちよつとした事が  
積み重なり

シロウの情欲を  
掻き立てたのかも  
しれない

ニニニ

ニニニ

ニニニ

ん♡

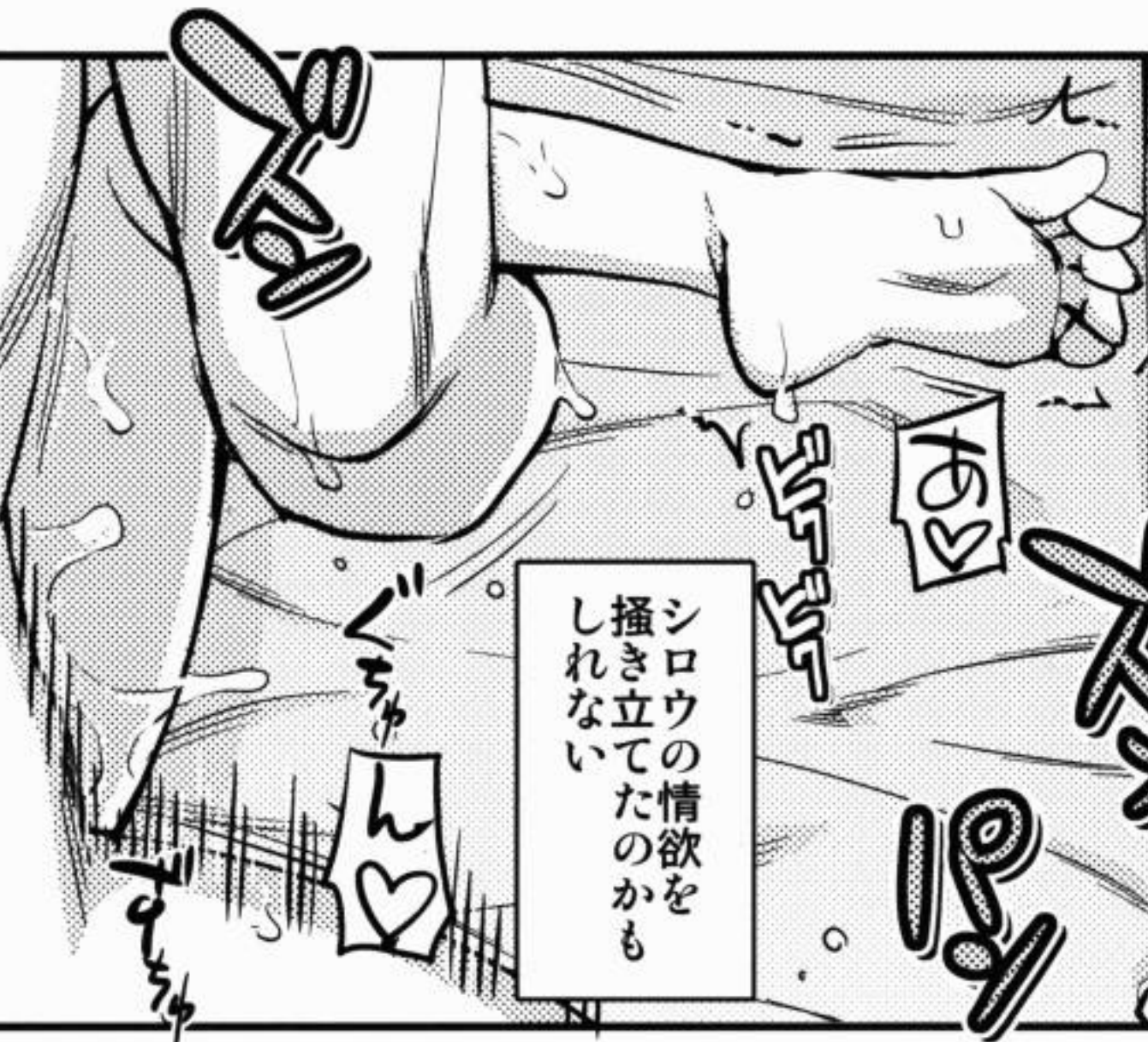
ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



だが

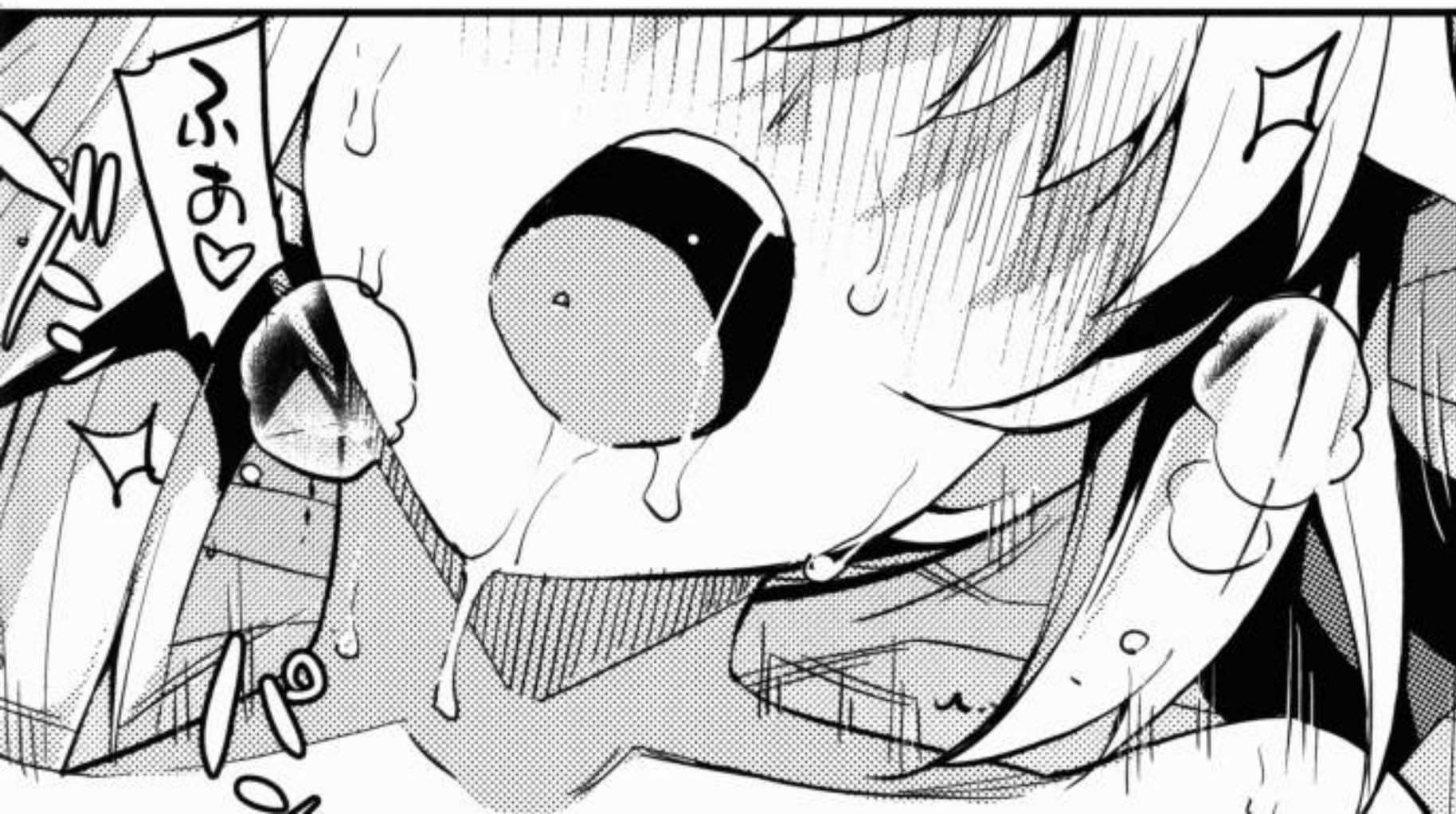
ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡





わからない…

もう…  
頭がまわらない…



熱のこもった  
室内

呼吸を遮って  
勝手にこぼれる  
喘ぎ

シロウの  
熱く荒々しい  
身体に覆われ

ロクに身動きも  
とれず

留まる事を  
知らぬ昂ぶりは  
胎内を震わせ



互いの汗は  
肌を滑らせ  
溶かし

混ざり合った  
体臭は

酷く甘い匂いで  
脳を焼く

はっ♡  
びっ♡

ふっ♡  
ふっ♡

はっ♡  
はっ♡

はっ♡  
はっ♡

はっ♡  
はっ♡

息苦しくて  
眩暈がして

身体境界が  
溶けて

ひとつになっ

んっ♡  
んっ♡

んっ♡  
んっ♡

んっ♡  
んっ♡

んっ♡  
んっ♡

意識が  
明滅する

まっしろに  
燃え尽きる

それでも  
私の芯に

その熱さが

シロウが

ハッキリと  
感じられ：







はあ…

かな…

夏のせい…

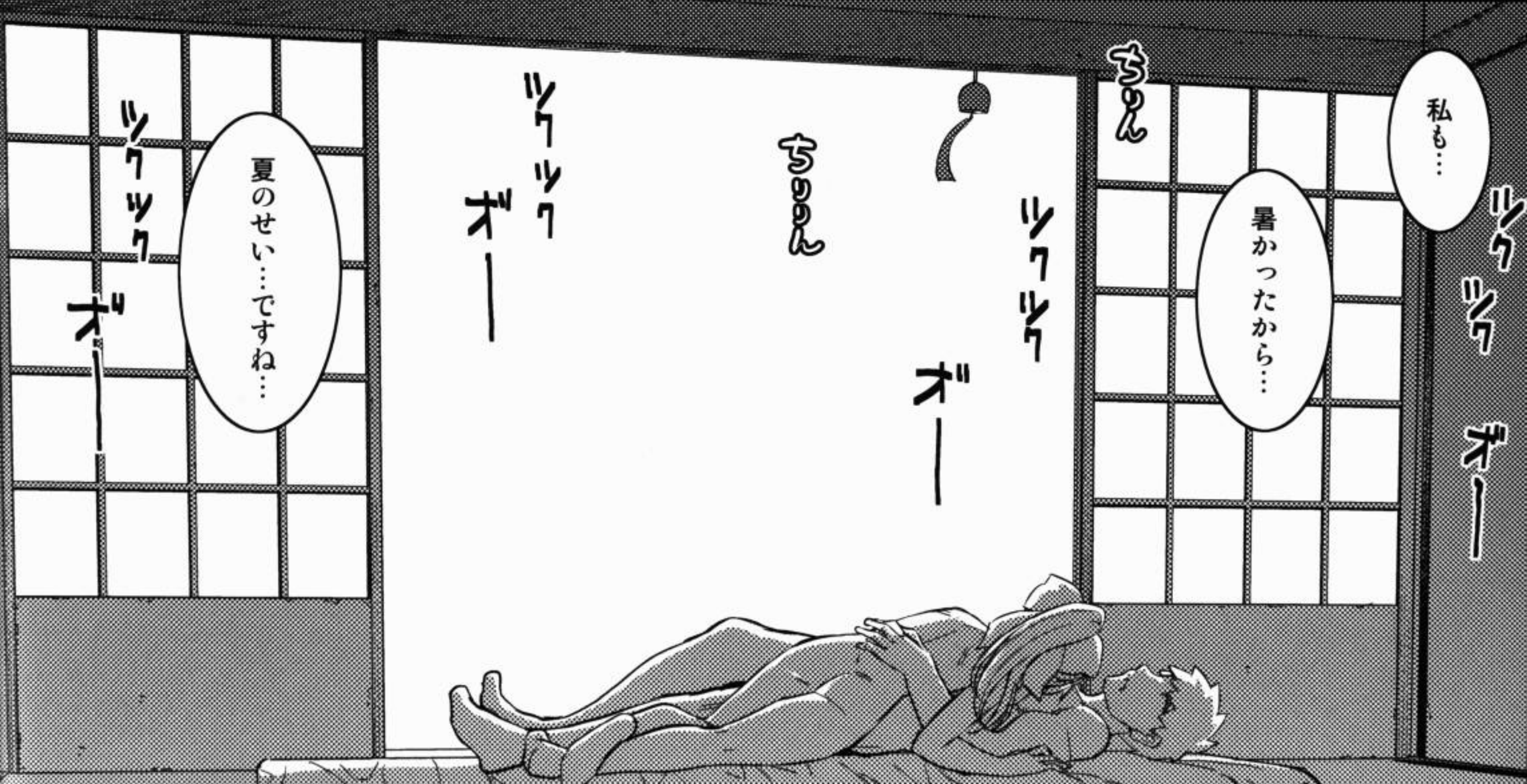


そう…ですね



暑さで  
頭どうかしてた…

悪い…



夏のせい…ですね…

暑かったから…

私も…

■最後は書き下ろしの汗ックス。  
多分凜グッドエンド後のお話。

夏は苦手なんです、うだるような暑さの中、  
朝から晩までねっちょんねっちょんのぐっちょんぐっちょんな絡み合いには憧れます。

このあともう数戦交わった後、本気で身動きとれなくなったところ、  
帰ってきた大河や桜達に見つかってひと悶着的な展開。

そこまで描ききって一冊新刊作れば良かったと今更軽く後悔。

未練だわー。

一通り言いたい事も書き散らして来たので特に語る事もなく。

も一散々セイバー本描いて来たんだからもう充分だろと思いつつ  
イチラブに触手陵辱への描き欲求がチラチラ残ってたり…。

多分別ジャンルに浮気しつつも、まだしばらくセイバー本描きそうな気がしますので  
気が向いたらお付き合いくださいませ。

GOの出来によっては他サーヴァント本に、  
月姫リメイク出たら全力で琥珀さん本に傾く可能性も大きいですが(笑

次は恐らく冬コミ…の前にプリヤで一冊出したいような。  
他にも夏アニメで魅力的な作品多いので迷っておりますが、さてはて。

さて最後までお付き合い頂きありがとうございます。  
それではまた。

2015年7月某日 無望菜志

## RE総集編03 ■ 奥付

- 発行  
RUBBISH選別隊
- 発行日  
2015年08月16日
- 印刷  
(株)PICO
- 連絡先  
rss@rubbish-ss.net
- HP  
<http://rubbish-ss.net/>



# RE総集編03

**FOR ADULT ONLY**

RUBBISH選別隊